

【レポート】

現業職場では多くの単組で新規採用が取れない時期が10年以上続き、半ば採用を諦め、自分たちの生き残りを模索し始めた単組もありました。しかし、新規採用がなくなった時期でも、どんどん高齢化が進んでいく組合員の中でなんとか力を合わせ自治研活動など組合活動での取り組みで地道に職場を活性化させ続け、組合交渉でようやく新規採用を勝ち取り始めた単組もあるのが実情です。レポートでは、下関市現業労働組合の自治研活動の取り組みをレポートします。

環境フェスタ参加による取り組み報告

山口県本部／下関市現業労働組合 古田 正博



下関市現業労働組合

はじめに

下関市現業労働組合では、下関市リサイクルプラザにて年4回開催する環境フェスタに参加し、「ごみの収集体験」というブースを出店し、

- ・ パッカー車でのごみ収集体験 コーナー
- ・ ごみの分別クイズ コーナー
- ・ 市民アンケート
- ・ ごみ出し相談

を行っています。

この取り組みは、組合の自治研活動として2008年より青年部を中心に活動を開始し、コロナ下でも途絶えることなく毎年活動を続けています。



1日だけのワークショップまつり! **モノづくり キッズフェス** 大人もご参加いただけます

2024年 8月4日(日) 10:00-15:00

人気ワークショップ大集合!

パッカー車体験 予約不要 体験無料 午前中のみ 下関市環境労働組合	ゴミ分別すごろく 予約優先 体験無料 午前中のみ 下関市クリーン推進課	電気を作ってみよう! 体験無料 手回し発電機や エアロバイク等による発電体験 山口県地球温暖化防止活動推進センター
小型家電解体 予約優先 午前中のみ 体験無料	マンカラ体験 予約不要	しものせき環境みらい館の無料体験コーナー 家族みんなで回ってみてね!



取り組みの きっかけ

当時、毎年当然のように入ってきていた新規採用職員が、国の現業職員抑制政策による退職者不補充により、新規職員の採用が10年以上も止まったままの状況となっていました。

これに危機感を覚えた青年部では、市民アピール行動を通して何か職場を活性化できないか？また、市民にわれわれ現業職場の必要性をより知ってもらうことで新規採用職員の獲得につなげられないか？ということが盛んに話し合われていました。

そこで、隣の市で山陽小野田市水道労働組合が「水辺の集い」というイベント活動を行っていることを聞きつけ、組合で見学を行うこととなりました。そしてそれを参考にして、2008年に下関市環境リサイクルプラザで行われていた環境フェスタに参加してみようという運びとなりました。



この環境フェスタには多くの家族連れで賑わい、会場内ではさまざまなイベントや催し物が行われています。

毎回、5000～8000名近くの市民のみなさんがご家族でご来場下さり、ごみの収集体験は、大人気のコーナーとなっています。

フェスタまでの の事前準備

- ① フェスタの主催者への参加申請
- ② 組合員の参加協力者の募集
- ③ 実行委員会の立ち上げ
- ④ 使用車両・テント・テーブルなど使用許可の申請
- ⑤ 景品や備品などの購入
- ⑥ フェスタの主催者との打ち合わせ
- ⑦ 人員・車両の配置計画作成

など



活動の目的

① 市民への啓発

② 現業職場のアピール

③ 将来の役員の担い手育成

④ 職の確立に向けた足がかり

⑤ 職域の拡大

①

市民への啓発

ごみを収集体験を楽しんでもらうことで、イベントへご参加いただいた市民のみなさんに、よりごみのリサイクルについて興味をもってもらい、ごみの出し方や分別への意識を高めることを目的としています。

ステーションは、自治会のみなさんでお使いいただくものであるため、ごみが鳥獣被害にあわないための対策や違反の多い種類のごみ出しなどについて、クイズ形式にして楽しみながら勉強してもらうことを意識したイベント作りを目指しています。



②

現業職場の アピール

われわれの現場での仕事は、主に街中に設置されたステーションのごみの収集ですが、それ以外の活動が意外と知られていないものが多い。

例えば、

- ・ 災害時の災害ごみの収集
- ・ 学校や自治会に出向いての出前講座
- ・ 海岸ごみの収集活動
- ・ 高台地・狭隘地区での収集
- ・ お年寄りを対象にしたふれあい収集 など

これらの普段あまり目立たない業務を、より市民にアピールし、われわれ現業職の重要性を知っていただく機会にしていくことも目的の1つとしている。



③

将来の役員の 担い手育成

このイベントに組合行事として参加することにより、組合員1人1人が様々な様々な役割を担い組合活動を経験していくことで、将来の役員の担い手を育成していく役割も果たしている。

イベントの事前準備には

- ・ 計画書の作成
- ・ 実行委員会の開催(複数回)
- ・ 車両、テント、持ち場などの申請書の提出
- ・ フェスタに参加者の募集
- ・ 景品や備品などの買い出し、運搬

など多岐にわたる考案・打ち合わせ・準備活動が伴い、その1つ1つの経験値が将来的に組合を担う人材作りの一翼を担っていると云えます。



④

職の確立に向けた足がかり

このイベントを通して、市民のみなさまへのアンケートやごみ出しの相談を行っています。市民のみなさんからごみについての直接的なご意見をお伺いし、当局との交渉において政策提言を行うことで、市民サービスの改善につなげていくことを目的としています。

例えば

- ・ 定時間帯収集
- ・ 高台地地区の持ち出し収集
- ・ ごみ出し困難者に対するふれあい収集 など

下関市では、これらのごみ収集に関する市民の要望は多様化する住民ニーズに応えるため、たびたび組合交渉の場で取り上げられ、新たなサービス実現に向けてこのアンケートが色濃く反映されていきました。



アンケートにご協力をお願いします

※回答番号に○を記入してください（何個でも回答 OK です）

<1> ごみステーションに関して困っていることはありますか？

- ① ごみの出し方を守らない人が多い
- ② ねこやカラスによるごみの散乱
- ③ 違反ごみがいつまでも放置してある
- ④ いつごろ収集に来るのかわからない
- ⑤ ごみステーションのネットが片づけられてない
- ⑥ 収集中の交通障害
- ⑦ ステーションが歩道にあるから通行の邪魔になる
- ⑧ その他()

<2> ごみの分別や出し方、リサイクルに関する情報はどこで得られますか？

- ① ごみカレンダー
- ② ごみ百科
- ③ 市報しものせき
- ④ 下関市ホームページ
- ⑤ 収集中の職員に聞く
- ⑥ 家族や友人、知人に聞く
- ⑦ 環境部に電話で聞く
- ⑧ 情報を得る手段がない
- ⑨ その他・(具体的に記入をお願いします)

<3> 環境行政に対して望むことはなんですか？

- ① ふれあい収集(高齢者などに対するごみ出し支援)の開始
- ② ごみステーションの鳥獣被害対策
- ③ 市民対象の環境学習会の実施
- ④ 違反ごみ対策や不法投棄の取り締まりの強化
- ⑤ 決まった時間にごみを取りに来てほしい
- ⑥ その他()

<4> その他、ごみ収集に関して困っていること・苦情・要望などがありましたらお聞かせ下さい。

[]

ご協力ありがとうございました。

※ アンケートの回収と粗品の受け渡し場所は、屋外のごみ収集体験コーナーです！粗品は先着順でなくなり次第終了となりますので、ご了承ください。

⑤

職域の拡大

これらの活動や収集現場での経験や知識を活かし、収集現場から離れ自治会対応や小学校への出前講座・ステーションの調査を行う「啓蒙・啓発班」に現業職員を4名配置し、職域の拡大を図っています。





問題点と課題

- ① 今後、これらの活動をより広げていこうとする組合員の思いの中で、組合員の減少による厳しい組合の予算を、これらの活動に対してどこまで経費として振り分けられるのか？
- ② 現在、賃金面で行1と行2が混在している状況で、これらの活動を活かした職場作りを行っていく上で、どのように賃金に反映させていく交渉をしていくのか？

+

o

今後の目標

これらの活動を通して、市民にわれわれ現業職場の重要性をアピールし続けること。

市民の声に常に寄り添い、現業職員だからこそ成しえる真の公共サービスの政策提言を行っていくこと。

これらを実践していくことで、常に情報をアップデートしながら住民ニーズを迅速かつ最大限に発揮できる体制を確立し、市民に必要とされ誇りをもって働ける職場作りを展開し、次世代につながる取り組みを進めていきたいと思えます。